

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	スザッピーが歩むまちづくり探検隊 ～私たちが探す、地域のすばらしさ、魅力再発見～
事業主体 (連絡先)	須坂市 須坂市生涯学習推進センター 電話 026-214-6086
事業区分	地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	614,415 円 (うち支援金: 473,000 円)

#### 事業内容

子どもたちの「まちにあかりを灯して、須坂を明るくしよう」との願いから、ランプシェードの設置場所探し、制作、設置のお願いに歩き、活動の報告をしました。

スザッピー探検隊Ⅰ 子どもたちを中心にまち歩きを通じてランプシェードを付けたい場所を探しました。9月9日(日)9時30分～15時30分須坂市内

スザッピー探検隊Ⅱ ランプシェードを制作しました。10月14日(日)13時30分～16時須坂市中央公民館

スザッピー探検隊Ⅲ 子どもたちがランプシェードを持って設置のお願いに歩きました。お昼に郷土食のおやきづくりを体験しました。10月28日(日)9時30分～14時須坂市内

スザッピー探検隊Ⅳ 第22回須坂市生涯学習市民のつどいの中で子どもたちが活動の報告をしました。11月24日(土)10時～12時須坂市中央公民館



【ランプシェード制作中】

#### 【目標・ねらい】

- ①地域資源の再認識と活用
- ②子どもが自主性を学び、実践的なアクティブ・ラーニングとなる。
- ③世代間交流と互いを認め合う。
- ④ふるさとへの愛着や誇り
- ⑤地域活性化の啓発

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①まち歩きにより地域の歴史や史跡など再認識できた。
- ②ランプシェードの制作から設置のお願いまで、子どもたちが中心になって進めた。
- ③大人たちが子どもの活動を助けながら一緒に楽しく事業を進めた。
- ④高校生が地域課題に対して提言をまとめた。
- ⑤子どもたちの「まちにあかりを灯して、須坂を明るくしよう」との願いからランプシェードを40個制作し設置した。

#### ※自己評価【 C 】

【理由】  
中学生の参加が無く、次年度は夏休み等を利用して参加を募る。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

子どもたちの純粋な思いが地域活性化のアイデアにつながる可能性を感じたのでこれらを大切にしていきたい。

ランプシェードの光の輪を広げる活動を手段として、その先のまちづくりをどう展開して行くかを模索する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	みんなとZOO っとわくわくわんパーク事業
事業主体 (連絡先)	須坂市 須坂市まちづくり推進部臥竜公園管理事務所
事業区分	(1)地域協働の推進
事業タイプ	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくり
総事業費	463,517円 (うち支援金: 360,000円)

#### 事業内容

須坂市臥竜公園は、設備や看板、植栽、整枝剪定、さくら樹勢回復、清掃等の維持管理を多くの市民ボランティアにより支えられている、市民参画型の手作り公園であります。

そのことから、市民の皆様と今回は下記の協働事業を実施し、更なる手作り公園としてのまちづくりを行った。

- 立入り防護柵の補修協働事業
- 樹木管理協働事業



【立入り防護柵の補修協働事業】

#### 【目標・ねらい】

- ① 愛護精神の高揚
- ② 教育・環境の場
- ③ 元気の源
- ④ 広報者

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・植物や動物の愛護精神の高揚が図られた。
- ・命に触れる憩いの場（リクレーション）及び楽しく学ぶ教育、環境教育の場である事の周知が図られた。
- ・約130名の市民ボランティアが参加し地域経済の振興の活性化や、市民の元気の源の増大が図られた。
- ・みんなとZOO っとわくわくわんパーク事業参加者が臥竜公園の魅力について広報者として発信でき、来年度の事業に参加していただくことの確認を頂いた。

#### ※自己評価【A】

##### 【理由】

単年度の事業と考えていたが、臥竜公園を応援したいと継続的事业に発展した為。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成30年度に参加された方から「更に応援できる事はないのか」等事業の継続や新たな事業の要望等がだされ、ふるさとの財産を大切に愛する心の育成を継続的・発展的な取り組みの推進を図っていききたい。そして、地域住民等が主体的・自主的に活動できる場を提供し更なる地域の元気を生み出す地域づくりの推進をはかります。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	【長野県～100年後の未来へと繋ぐ】プロジェクト 長野県長野市大岡地区の移住定住に繋げる事業
事業主体 (連絡先)	NPO 法人元気お届け隊 TEL 026-272-0414 ホームページ genkiotodoketai.jimdo.com
事業区分	その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	894,870円 (うち支援金: 667,000円)



#### 事業内容

- 1、大岡地区の魅力、存在の良さの周知活動として講師に地域再生・日本版DMOの第一人者である大正大学地域構想研究所教授清水慎一氏を招き、シンポジウムとワークショップを開催した。
- 2、大岡地区の移住定住促進活動として「農家体験」
  - ①田植え体験②山里の暮らし体験③稲刈り体験を開催した。
- 3、銀座 NAGANO での周知会開催  
『横山たか子さんの信州長寿ごはん～長野市大岡の地元野菜の味わい～』を開催した。農薬不使用の棚田米、地元野菜と地元の酒米と湧水を使った銘酒「十九」を参加者に堪能していただいた。日本アルプスと棚田の景観と山里の暮らしのパンフレットとプロモーションビデオを作製し、長野市大岡をPRした。



【稲刈り体験】

#### 【目標・ねらい】

- ①住民の意識改革に繋げる。
- ②大岡地区の魅力を周知する
- ③地域の再生に繋げる
- ④移住定住人口を増やす。

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①清水教授のレクチャーにより住民の地域課題への向き合い方に本気度が増した。
- ②首都圏の参加者の皆さんに美味しい地元野菜と銘酒を堪能していただき「長野市大岡」を存分にPRできた。
- ③農家体験で地元住民との交流ができた。  
大岡住民自治協議会、大岡グリーンツーリズム倶楽部との連携を深め住民一丸となって再生に取り組む機運が生まれた。
- ④一度訪れてみたいという気持ちを後押しすることができた。

※自己評価【 B 】

#### 【理由】

想定を上回るPR効果はあったが、短期間で移住者を増やすことはできなかった。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

滞在型交流プログラムであるグリーンツーリズムの拡大をめざし勉強会を継続する。  
関係人口、移住定住人口を増加させ大岡地区の維持、再生を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	スマイル・ママ・フェスタ in 須坂の開催
事業主体 (連絡先)	スマイル・ママ・フェスタ in 須坂実行委員会 須坂市男女共同参画課 (事務局) TEL026-248-9034
事業区分	その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	467,773 円 (うち支援金: 315,000 円)

### 事業内容

ママの「得意」「経験」を活かした発表の場やママ同士のネットワークづくり、若い女性の活躍の場を広げる等の女性の活躍を支援することと、ママ同士、パパ同士の連携や子育ての悩みを共有、様々な活動団体や子育て支援サービスなどのネットワーク作りで子育てしやすい地域づくりを目的にスマイル・ママ・フェスタ in 須坂を開催しました。

6月2日 10時～15時 須坂市文化会館メセナホール  
入場無料



【当日の会場のようす】

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

子育て世代のママ達が、自らの経験や活動を活かした発表の場を作り、親子でいっしょに楽しみ、交流のできるイベントを開催しました。参加者約1,400名。

- ①得意なことや経験をいかしたブースの出展に28件、ステージ発表8団体
- ②実行委員会には、子育て中の母親を中心に17名が参加し、主体的にイベントの企画・運営に携わり、また、参加者同士や出展者同士がつながり、女性活躍の場を広げることができました。
- ③イベントの開催を通して、親同士のつながりや交流をつくることで、安心して子育てできる、子育てしやすい地域づくりを進めることができました。
- ④市内の飲食店11店出店
- ⑤保育士、保健師等の相談コーナーに32件の相談

### 【目標・ねらい】

- ①自らの経験や活動を活かした発表の場の創出
- ②ママ同士の連携、ネットワークづくり
- ③子育てしやすい地域づくり
- ④賑わいの創出
- ⑤悩みの共有

### ※自己評価【A】

#### 【理由】

- ・目標を上回る集客
- ・実行委員が主体的に企画・運営に携わり、フェスタが成功した。
- ・参加者や出展者同士のつながりが集客につながった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

平成30年度 地域発元気づくり支援金事業総括書

事業名	松川河川空間の有効活用
事業主体 (連絡先)	旭ヶ丘地域づくり推進プロジェクト 須坂市旭ヶ丘7-55
事業区分	8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,150,336円 (うち支援金: 887,000円)

事業内容

松川左岸堤防(大豊橋から上松川橋間)を「松川四季の道」として清掃整備を行い、多くの皆さんにウォーキングや散歩などに活用してもらった。また、今後の利用者を増加させたり、松川橋付近の河川敷をにぎわいゾーンなどとして一層の活用結び付けるため「松川四季の道フェスティバル」を計画(台風の影響で中止)した。

- ・四季の道草刈り等清掃: 5月~9月 (今後も継続)
- ・休憩用ベンチ、山の眺望看板: 9月設置
- ・ウォーキングマップ: 9月完成、各所配布
- ・ボランティア用ベスト: 8月完成
- ・草刈機: 8月購入
- ・松川四季の道フェスティバル: 9月30日開催 ウォーキング教室のみ開催 40名参加



【山の眺望看板】

【目標・ねらい】

- ①ウォーキング、散歩、ジョギングなど利用者増
- ②地域が誇れる地域資源の掘り起こしと有効活用
- ③景観の維持保全

事業効果

支援金を活用して

- ①休憩用ベンチ及び山の眺望看板を設置でき、利用者が増加した。
- ②草刈機4機を購入でき、継続的な維持管理が効率的にできるようになった。
- ③パンフレット配布により、「松川四季の道」のピーアールができ、より多くの活用が見込める。
- ④「松川四季の道フェスティバル」は台風24号の接近により中止とし、ウォーキング教室のみを実施し40名の参加があった。

※自己評価【B】

【理由】

- ・四季の道利用者は増加した。
- ・イベントは台風の影響でウォーキング教室を除き中止としたが、メンバーが精一杯努力して作り上げるイベントでボランティアによる準備作業等は予定どおりでき、このノウハウの蓄積を今後生かしたい。
- ・須坂新聞等のメディアにも取り上げられ訴求効果は大きかった。

今後の取り組み

「松川四季の道」の維持管理を継続する。同時に隣接する市営の松川霊園との一体的整備について須坂市へ要望しながら、共創により河川空間の有効活用を図る。

今回中止としたイベントについては、今後の「松川四季の道」の利用状況や機運の盛り上がり状況などを勘案して検討していきたい。

また、当プロジェクトでは、高齢者等の買物や通院などの移動困難者の外出支援を検討しており、実施に向け道路交通法などを調査中である。この取り組みでは車両の確保や運転手等のスタッフの確保などが大きな課題となっており、運輸局や須坂市とも相談しながら進めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある